



2010年7月2日

テムリック株式会社

各位

肝細胞癌治療剤 TM-411 の第Ⅱ相臨床試験開始について

テムリック株式会社(本社:東京都千代田区 社長:浴本 久雄、以下「当社」)は、2007年8月ゼリア新薬工業株式会社(本社:東京都中央区 社長:伊部 幸顕、以下「ゼリア」)と当社が保有する開発コード TM-411(一般名:タミバロテン)の肝細胞癌(hepatocellular carcinoma : HCC)の当社との共同開発ならびに独占的製造販売権をゼリアに供与するためのライセンス契約を締結しました。その後、ゼリアは開発コードを Z-208 として、第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験の第Ⅰ相部分を進めておりましたが、このたび効果安全性評価委員会より、推奨用量とその用量による第Ⅱ相部分の開始が提言されましたのでお知らせいたします。

本試験は、既存の治療法が無効と判断された、又は適切な治療法がない肝細胞癌患者を対象に、本剤の有効性と安全性を検討します。

本剤は、HCC 細胞や血管内皮細胞に発現しているレチノイン酸受容体に強力に結合し、HCC 細胞の増殖や血管新生を阻害することが前臨床試験で確認されています。本剤は、これらの作用により肝細胞癌に対する副作用の少ない分子標的薬として期待されています。日本国内における肝細胞癌の死亡率は罹患数に対し 80%以上ときわめて高く、がん死の第3位となっています。

当社とゼリアは日本国内において肝細胞癌の研究開発を共同で行い、ゼリアが製造販売承認を取得の上、製造販売を行います。

※タミバロテン

東京大学薬学部において創製されたレチノイン酸誘導体(レチノイド)で、既存のレチノイドに比べ化学的安定性並びに安全性が改善された、強い分化誘導活性を示す薬剤です。国内においては東光薬品工業株式会社が開発し、2005年4月11日に「再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病(APL)」の治療薬として承認され、2005年6月「アムノレイク錠 2mg」として発売されました。当社は、APL についても導出先を通して、欧米(CytRx Corporation:米国)並びに中国(株式会社 Lotus:東京都港区)において開発を進めております。





●テムリック株式会社

本社 東京都千代田区二番町 6 番地 3
資本金 5,000 万円
代表者 代表取締役社長 浴本 久雄
業務内容 がん領域に特化した創薬事業
URL: <http://www.tmrc.co.jp/>

●ゼリア新薬工業株式会社

本社 東京都中央区日本橋小舟町 10-11
資本金 65 億 9,339 万 8 千 5 百円
代表者 代表取締役社長 伊部 幸顕
業務内容 医薬品、医薬部外品、医療機器、化粧品、健康食品等の製造販売および
輸出入
URL: <http://www.zeria.co.jp/>

*このリリースに関するお問合せ先

テムリック株式会社 東京都千代田区二番町 6-3
Tel: 03-5215-2810

